

テーマ：観光（実践校）

## 空知管内 滝川市立明苑中学校

### ■本実践のポイント（概要）

- ・郷土に対する愛着や誇りを育むため、令和元年度から総合的な学習の時間において、日本遺産である「炭鉄港」の学習を実施しています。第1学年で空知の「炭」、第2学年で小樽の「港」と「鉄」、第3学年で室蘭の「鉄」をテーマとし、系統的に学びを深めています。「炭鉄港」を切り口として、様々な地域についても学び、滝川市との関連を調べることで、ふるさと「滝川」について考えを深め、探究的な学習を行いました。

### ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### ①取組の様子

##### (1) 課題の設定

「炭鉄港」について学び、周辺市町の発展と滝川市の発展を結び付け、「滝川市の特徴について理解を深め、ふるさとに愛着や誇りをもつこと」を課題として学習を行いました。

##### (2) 情報の収集

第1学年は空知の「炭」を学ぶために、赤平市、歌志内市及び月形町などの炭鉄港の構成文化財を訪問し、第2学年は小樽の「港」や「鉄」を学ぶために、小樽市を訪問し、第3学年は「鉄」を学ぶために、修学旅行で室蘭市を訪問し、旧室蘭駅舎等の関連施設を見学するなど、系統的に学習を進めていきました。また、室蘭市役所の協力を得て、「たたら製鉄体験」を実施し、鉄ができる過程を体験を通して学び、学習を深める機会としました。

##### (3) 整理・分析

「炭鉄港」の学習を通して、「北海道の発展には石炭が大きな役割を果たしたこと」、「空知の石炭を流通させるために、空知と各地の鉄道や港湾を結び付けたこと」、「滝川市には炭鉱はないが、立地のよさを活かし、商業都市として発展したこと」など、今までになかった多様な視点から郷土について考えを深めることができました。

##### (4) まとめ・表現

各学年で調べた内容を壁新聞やレポートにまとめました。また、グループごとに端末を活用してプレゼンテーションを作成し、互いに表現し合うことを通して、滝川市について理解を深めました。



【たたら製鉄体験の様子①】

#### ②生徒の感想等

- ・最初に想像していたよりもそれぞれの地域でたくさんの発見がありました。それが滝川市に繋がっているのが面白かったです。
- ・滝川市の知らなかった面をたくさん発見できたので、滝川市のことを誰かに伝えたいと思いました。
- ・たたら製鉄体験では、鉄を作る過程を考えたこともなかったけれど、実際に体験してみて多くの苦労があることを知りました。



【たたら製鉄体験の様子②】

### ■取組の成果（○）と課題（●）

- 「炭鉄港」を地域学習として教育課程に位置付けたことで、学年段階で系統的な学習を進められ、「空知や北海道の中の滝川市」という視点で、ふるさとを捉えることができました。
- 滝川市だけではなく、様々な地域の方々と交流する機会を設けたことで、各地域の方々も「自分のふるさとへの強い愛着や誇り」に多くの生徒が刺激を受けることができました。
- 今後、本取組を一層充実させるために、3年間の学習内容を整理し、「炭鉄港」の教材としての魅力や意義を教職員間で改めて共有することに加え、保護者や地域と連携した取組に発展させていく必要があります。